

剣道大会要項

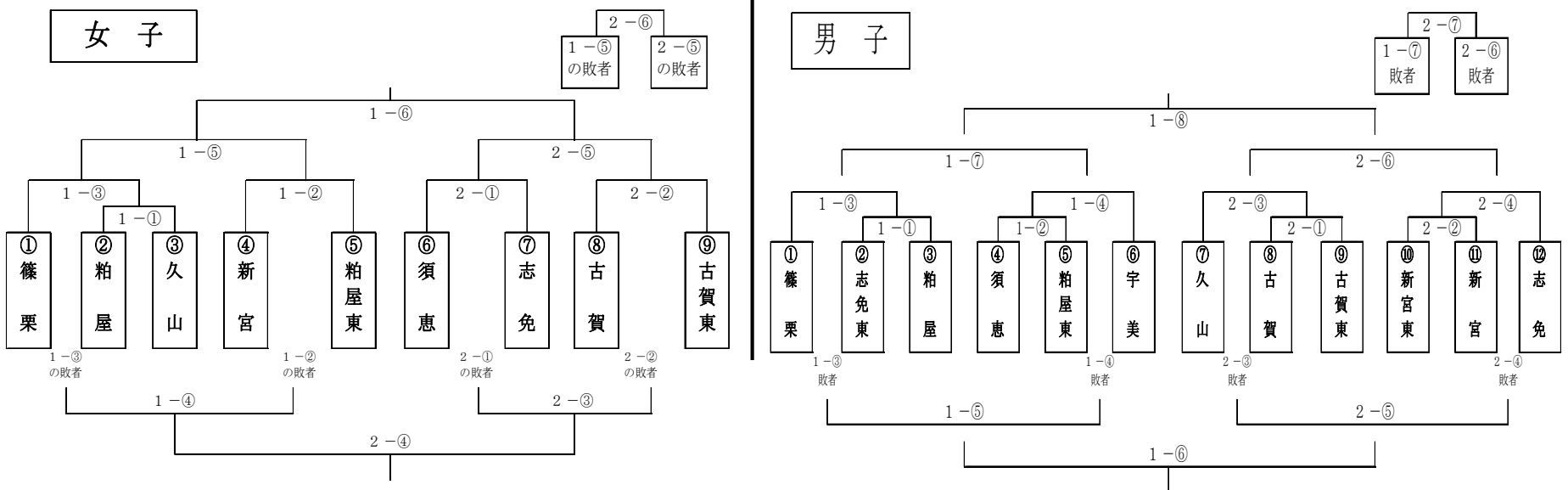
- 1 大会名 第38回 糟屋区中学校新人剣道大会
 - 2 主催 糟屋区中学校体育連盟
 - 3 期日 令和3年10月9(土) 8:00開場 8:35 審判役員打ち合わせ会 9:00 競技開始(女子) 12:45 競技開始(男子)
 - 4 会場 須恵町立須恵中学校 体育館 須恵町大字上須恵 1167-1 TEL 092-932-0116
 - 5 参加資格 糟屋区中学校総合・新人体育大会参加基準に準じる。
 - 6 競技方法 (1)団体戦はトーナメント戦で行う。
(2)団体戦の試合順序は、午前中に2コートを使い女子、午後から2コートを使い男子が行う。
 - 7 競技規則 (1)試合規則は全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則・細則」及び「日本中学校体育連盟剣道部申し合わせ事項」とする。
(2)申し込み後のオーダー変更は認めない。補員交代は、下記の場合のみ認める。
 - ・各試合までに申し込みがあった場合(コート主任に申し出ること)
 - ・補員出場は、欠場者の位置に入れる。
 - ・一度退場した者は再出場できない。
(3)不正出場が認められた場合、不正出場者は負けとする。
(4)団体戦 ・3分3本勝負とし、勝敗の決しない場合は、引き分けとする。
 - ・チームの勝敗は勝者数により決定する。
 - 勝者数同数の場合は、取得本数により、取得本数同数の場合は、代表戦によって決定する。
 - ・代表戦(任意)は、3分1本勝負とし、勝負が決しない場合は、勝負が決するまで延長戦を行う。
(5)竹刀は、長さ114cm以内、重さ男子440g以上、女子400g以上とする。
また、竹刀の先端の直径は男子25mm以上、女子24mm以上とし、先皮の長さは5cm以上とする。
(6)コートの広さは10m×10mとする。
(7)チームの編成および参加人数
 - ・男子団体 1チーム選手3名～5名と補員(5名に満たない場合は1次鋒、2副将の順に空ける)
 - ・女子団体 1チーム選手3名～5名と補員(5名に満たない場合は1次鋒、2副将の順に空ける)
(8)地区大会出場資格は、団体戦男女各5校とする。
(9)出場辞退の場合は不戦敗とし、対戦相手を不戦勝とする。
(10)引率・監督は、当該学校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、当該学校の教育職員・部活動指導員とする。但し、教育職員以外のコーチは校長が認め、県中体連に登録し承認を受けた者とする。
- 8 申し合わせ事項
- (1)目印(全長70cm、幅5cm)は各校で準備する。
 - (2)面紐の長さは40cm以内とし、長い場合は監督または選手が切断する。
 - (3)問題が生じた時は、専門部内での協議により決定する。
 - (4)試合中のカメラのフラッシュ、ビデオのライトは禁止する。
 - (5)会場へのジュースのビン・缶・ペットボトルの持ち込みを禁止する。
 - (6)団体戦のオーダー用紙を当日の朝に提出する。
 - (7)各学校で竹刀の点検を入念に行うものとする。
 - (8)竹刀の柄皮の滑り止め(ゴムなど)は禁止とする。
 - (9)面乳皮の華美なものは禁止とする。(黒・紺はOK)
 - (10)三所隠しについては、合議のうえ1回目指導、2回目以降反則とする。
 - (11)開会式前に各会場でマナーチェックを実施する。
 - (12)AEDは、体育館後方、出入口付近に設置する。
 - (13)「糟屋区中学校新人剣道大会における新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドライン」を遵守する。

9 選手申し込み

- (1)大会申込書のFaxを**10月4日(月)**までに提出する。(新宮中 元田まで)
- (2)連絡先 〒811-0112 新宮町下府2-1-1 新宮町立新宮中学校 TEL 092-963-0035

10 表彰 男女団体3位まで表彰する。 元田 亮 Fax 092-962-3622

11 組合せ 《団体戦》



糟屋区中学校新人剣道大会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

1. 選手に関わること

- 試合に出場する選手は、自宅からマスクを着用し、剣道着・袴に着替えて会場に入る。（更衣室の提供はしない。）
- 当日までの2週間検温を行い、結果を提出する。当日に37.0℃未満の者しか、会場に入れない。また、咳、咽頭痛、頭痛等がある場合も会場への入場を遠慮してもらう。
- 同居家族、身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、自身が濃厚接触者に当てはまる場合は入場を制限する。
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の経過観察期間を必要とされている国や地域等への渡航、または当該在住者との濃厚接触がある場合も入場を制限する。
- 会場に入る際には、必ず手洗いと手指の消毒を行う。
- アップ時より、面マスク、フェイスシールドの着用を義務付ける。（教員がアップに入る場合も同様とする）
- 試合後にはすぐにマスクを着用する。
- 個人で使用する防具や竹刀、その他の道具などは全て個人で取り扱いを行う。（水筒やタオル等も含む）
- 試合前後のミーティング等を行う場合はフィジカルディスタンスを保ち、会場外で行う。
- 全日本剣道連盟「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」に準じて、試合を行う。
- 参加する生徒は、当日の朝、以下の症状等がある場合は参加を控えること。「体調記録表」に記入を済ませ、確実に各顧問が検温や体調等の健康観察の確認を行い、異常が認められない生徒のみを参加させること。また、顧問や外部指導者についても、試合前2週間分の「体調記録表」を持参すること。

2. 試合前のアップに関わること

- 密を避けるために、アップ場所を指定、分散して行う。
- 駐車場への入場は開場時間の20分前からとする。
 - 団体戦女子→7:40以降に入場
 - 団体戦男子→10:55以降に入場
- 【団体戦：女子】 開場 8:00**
- 8:10～8:40
- 【団体戦：男子】 開場 11:15**
- 11:25～11:55 志免東中、粕屋中、粕屋東中、須恵中、古賀中、古賀東中
- 11:55～12:25 篠栗中、宇美中、久山中、新宮中、新宮東中、志免中

3. 会場に関わること

- 時間を決め、定期的の手洗い、換気を行う時間を設け、本部より連絡を行う。
- 手洗いの際には30秒以上手洗いをする。
- トイレには、消毒液を設け、手洗いと消毒の両方を行うように連絡する。
- トイレは、フタを閉めて流す。
- トイレは、定期的消毒を行い感染防止に努める。
- 選手荷物置き場も定期的消毒を行う。
- 選手以外の生徒の入場を制限する。
- 外部審判を依頼する際には、保護者が記入した内容と同様のものを記入してもらう。
- 各校荷物置き場を使用した際には、各校で責任をもって消毒を行う。

4. 審判員へのお願い

- 大会当日までの2週間検温を行い、用紙に記入し、当日受付で提出する。
- 当日の体温が37.0℃未満、咳、咽頭痛、頭痛等がある場合も会場への入場を遠慮してもらう。
- 同居家族、身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、自身が濃厚接触者に当てはまる場合は入場を制限する。
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の経過観察期間を必要とされている国や地域等への渡航、または当該在住者との濃厚接触がある場合も入場を制限する。
- 感染症防止の観点から「審判旗」は持参してもらう。
- 会場に入る際には、必ず手洗いと手指の消毒を行う。

5. 熱中症対策について

○会場内3カ所に大型扇風機を設置する。

○勝敗が決しない場合の延長戦は、本戦3分間→延長2分間→2分間→2分間休息→2分間→2分間→2分間→2分間休息を基本とする。また、気温上昇が予想されることから、選手の様子をみて適宜休息時間を設ける。

6. 試合開始前～試合開始後に関わること

【団体戦】

時間	参加生徒、顧問（指導者）の動き
競技開始 15分前	<ul style="list-style-type: none">各会場でマナーチェックを実施する。試合を行う試合会場（1～2試合場）に中学校ごとに整列を行う。生徒間1m空けて整列をする。
9:00 (女子) 12:45 (男子)	1 試合目開始 <ul style="list-style-type: none">選手（7名）、顧問（指導者）は常にマスクを着用。応援は拍手のみで行い、声を出しての応援は禁止とする。
試合終了後	<ul style="list-style-type: none">会場動線図に従って移動する。顧問（指導者）が指示を出す場合 勝利した場合は、ステージの反対側（出入口）付近で間隔を空けて行う。敗戦した場合は、荷物を全て片付け、屋外で間隔を空けて行う。
1 試合目以降 の試合	<ul style="list-style-type: none">前の試合終了5分前に手指消毒を行い、指定待機場所にて待機をする。前の試合が最後の挨拶をしているときに、体育館外側に移動する。試合を行った選手が退場してから、会場動線図に従って入場する。

7. 会場動線

